

平成 28 年 11 月 21 日

大船渡市教育委員会

教育長 今 野 洋 二 様

大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会

委員長 新 沼 邦 夫



大船渡市立小・中学校の規模及び配置の適正化への提言について（報告）

平成 28 年 8 月 8 日付けで、貴殿から本委員会委員の委嘱を受け、大船渡市立小・中学校適正規模・適正配置基本計画（案）について慎重に検討いたしました。

つきましては、その検討過程において各委員から出された意見・要望等を別紙のとおり提言として取りまとめたので報告します。

基本計画の策定及びその推進にあたりましては、それぞれの提言を尊重し、その趣旨を十分に踏まえた対応を要望します。



別 紙

大船渡市立小・中学校の規模及び配置の適正化への提言

大船渡市立小・中学校適正規模等検討委員会

- 1 基本計画の策定にあたっては、少子化の進行を踏まえ、将来を担う子どもたちにとって、どうあるのが望ましいかという点を第一に考えること。
- 2 基本計画の策定過程で、市の広報やホームページへの掲載などを通じて計画案を広く市民に周知するとともに、意見を伺う方策を講ずること。
- 3 基本計画策定後においては、小・中学校の全体的な小規模化に伴い、人間関係の固定化・序列化により懸念される教育上の影響や、中学校の部活動の現状などを考慮し、基本計画の着実な推進に向け、地域との話し合いを積極的に進めること。
- 4 学校統合を進めるうえで、児童生徒数や学級数の推移だけに限らず、校舎等の老朽化への対応という視点も考慮に入れること。